

文京区立第十中学校 英語科 学習到達目標 (CAN DO LIST 2026～2027)

Can Do Listとは中学校3年間の英語授業で生徒にどのような英語力をつけるかという到達目標を学年別、技能別にリストにしたものである。
Can Do List設定により、誰がどのような教科書で授業を行っても、達成目標を目指す授業が展開される。また、生徒に英語の授業での到達目標を提示できる。
生徒自身が自分の英語力・技能を把握することができ、なおかつ教師がその到達度を把握し指導に活かすことができる。

学年		小学校～中学1年前半	中学1年後半	中学2年	中学3年	中学上級	
G:グレード		G 0	G 1	G 2	G 3	G 4	
CEFR(英検)との関連			A1(英検5級)	A1～2(英検4級)	A2(英検3級)	B1(英検準2級)	
理解	聞くこと (L)	授業内	[L0-1]・基本的な英語の指示が分かり、教師の指示通りに動くことができる。	[L1-1]・教師がイラストやジェスチャーを用いて、スピードやポーズなどにより配慮して話しをすれば、短い話の概要、要点、必要な情報などを捉えることができる。	[L2-1]・教師がイラストやジェスチャーを用いて、スピードやポーズなどにある程度、配慮して話しをすれば、短い話の概要、要点、必要な情報などを捉えることができる。	[L3-1]・教師がイラストやジェスチャーを用いて、はっきりとした発音で話しをすれば、短い話の概要、要点、必要な情報などを捉えることができる。	[L4-1]・教師がはっきりとした発音で話をすれば、概要、要点、必要な情報などを捉えることができる。
		授業外	[L0-2]・ゆっくり、はっきりと話されれば簡単な自己紹介や発表を聞いて、その内容を理解することができる。	[L1-2]・ゆっくり、はっきりと話されれば、短い話の日常生活について、概要、要点、必要な情報などを捉えることができる。	[L2-2]・ゆっくり、はっきりと話されれば、短い話の簡単な英語を聞いて、概要、要点、必要な情報などを捉えることができる。	[L3-2]・簡単な内容であれば、短い話の概要、要点、必要な情報などを捉えることができる。	[L4-2]・簡単なアナウンスや買い物や外食などで、概要、要点、必要な情報などを捉えることができる。
	読むこと (R)	授業内	[R0-1]・アルファベットの大文字・小文字が読める。すでに慣れ親しんだ単語や文を読むことができる。	[R1-1]・中学1年の教科書で取り扱う(語句レベルの)日常生活に関する対話文やメール文などの概要、要点、必要な情報などを捉えることができる。	[R2-1]・中学2年の教科書で取り扱う(語句レベルの)日常生活や日本文化、外国文化に関する対話文や説明文などの概要、要点、必要な情報などを捉えることができる。(めやす)W.P.M.(Word by Per Minute) 100以上で黙読できる。	[R3-1]・中学3年の教科書で取り扱う(語句レベルの)日常生活や日本文化、外国文化に関する対話文や説明文などの概要、要点、必要な情報などを捉えることができる。(めやす)W.P.M.(Word by Per Minute) 140以上で黙読できる。	[R4-1]・高校の教科書の概要、要点、必要な情報などを捉えることができる。
		授業外	[R0-2]・日常生活の身近なことを表す簡単な文を理解することができる。	[R1-2]・すでに慣れ親しんだ単語や文や教科書、授業等で扱った単語や文を読み、概要、要点、必要な情報などを捉えることができる。	[R2-2]・公共施設やファーストフード店などにある簡単な英語の表示や掲示などを読み、概要、要点、必要な情報などを捉えることができる。	[R3-2]・中学で学習する範囲の語句を使った簡単なメールや文章などを読み、概要、要点、必要な情報などを捉えることができる。	[R4-2]・簡単なメールや文章などを読み、概要、要点、必要な情報などを捉えることができる。
表現	話すこと (S)	発表	[S0-1]・簡単な語を用いて、自分についての情報(名前、年齢など)で自己紹介をすることができる。	[S1-1]・好きなことなど身近な話題についての意見や理由など、または聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたことなどを3文以上で話すことができる。	[S2-1]・過去の思い出や予定・計画などについての意見や理由など、または聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたことなどを3文以上で話すことができる。4文以上で話すことができる。	[S3-1]・与えられたテーマ、または聞いたり読んだりしたことについて意見や感想を理由も含めて5文以上で英語で話すことができる。	[S4-1]・与えられたテーマ、または聞いたり読んだりしたことについて考えたことや感じたことなどについて様々な語句を使って、英語で話し、聞き手に伝えることができる。
		やりとり	[S0-2]・よく使われる日常の挨拶をしたり、その応答ができる。	[S1-2]・日常生活に関するトピックで、挨拶も含め、外国人講師と1分程度の会話をすることができる。	[S2-2]・日常生活に関するトピックで、質問に答えたり、質問をしながら外国人講師と1分30秒程度会話をすることができる。	[S3-2]・日常生活に関するトピックで、質問に答えたり、質問をしながら(外国人講師と)2分程度会話をすることができる。	[S4-2]・日常生活に関するトピックで、質問に答えたり、質問をしながら(外国人講師と)2分30秒以上会話をすることができる。
	書くこと (W)	授業内	[W0-1]・自分の名前を英語で書くことができ、自分に関することを1文程度で書くことができる。	[W1-1]・好きなことなど身近な話題についての意見や理由など、または聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたことなどを3文以上で書くことができる。	[W2-1]・過去の思い出や予定・計画などについての意見や理由など、または聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたことなどを4文以上で書くことができる。	[W3-1]・与えられたテーマ、または聞いたり読んだりしたことについて意見や感想を理由も含めて5文以上で英語で書くことができる。	[W4-1]・与えられたテーマ、または聞いたり読んだりしたことについて考えたことや感じたことなどについて様々な語句を使って、英語で書き、読み手に伝えることができる。
		授業外	[W0-2]・アルファベットの大文字・小文字を書くことができ、自分に関することを1文程度で書くことができる。	[W1-2]・読みやすい文字で文章を書くことができる。	[W2-2]・簡単な日記を英語で書くことができる	[W3-2]・聞いたり、読んだことに対して、自分の意見をわかりやすく書ける。	[W4-2]・聞いたり、読んだことに対して、自分の意見をわかりやすく書いたり、その内容の要約を書くことができる。

※ CEFR(Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment)

「外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠」:外国語学習者の到達度を示す指標で、欧州評議会によってまとめられた枠組みを元にこのリストを作成しています。